

県経済同友会

中村氏「国へ積極提言」

筆頭代表幹事に選任

県経済同友会は13日、筆頭代表幹事に代表幹事の中村正氏(64)＝秋田屋本店社長＝を選任した。岐阜市内で会見した中村氏は「日本経済を再建するため、経済人が国の政策に積極的に関わっていくのが経済同友会の原点」とし、「原点回帰

し、さまざまなケースを想定し提言活動を行っていきたい」と抱負を語った。同日開かれた総会と理事会で決定した。本年度の提言活動については、「国政を考える委員会」で、政府が一億総活躍社会の実現を推進する中、地方企業

の活性化策をまとめ国に提言。一方、「県の森林を考える委員会」では、地域資源の森林の活用策などを議論し県や各自治体に提案する。そのほか、参院選や財政再建などをテーマにした提言も検討しており、「緊急性が高

くタイムリーな題材を扱い、国と地方に対して発信する」と述べた。この日は、前筆頭代表幹事で特別幹事に就いた四橋英児ヨツハシ社長が退任あいさつをしたほか、新任代表幹事の杉山文康杉山建設社長も意気込みを述べた。例会も開かれ、法政大学院教授の小峰隆夫氏が「アベノミクスの評価と経済対策の課題」をテーマに講演した。



会見する県経済同友会の四橋英児前筆頭代表幹事、中村正新筆頭代表幹事、杉山文康代表幹事(右から)＝岐阜市長良、岐阜グランドホテル